

第 3 回 館 山 市 議 会 定 例 会 会 議 録

( 第 6 号 )



1 平成4年9月29日(火曜日)午前10時

1 館山市役所議場

1 出席議員 26名

|           |           |
|-----------|-----------|
| 1番 秋山 光章  | 2番 増田 基彦  |
| 3番 島田 保   | 4番 斉藤 実   |
| 5番 宮沢 治海  | 6番 植木 馨   |
| 7番 鈴木 順子  | 8番 永井 龍平  |
| 9番 脇田 安保  | 10番 庄司二三男 |
| 11番 山崎 雅己 | 12番 岩村 勝弘 |
| 13番 榎本 春光 | 14番 小宮 利夫 |
| 15番 山中金治郎 | 16番 鈴木 勝美 |
| 17番 鈴木 忠夫 | 18番 日下 君敏 |
| 19番 川名 正二 | 21番 神田 守隆 |
| 22番 福原 勲  | 23番 石井 昌治 |
| 25番 流山源次郎 | 26番 辻田 実  |
| 27番 横溝 功  | 28番 飯田 義男 |

1 欠席議員 1名

20番 生稻 陞

1 出席説明員

|               |              |
|---------------|--------------|
| 市長 庄司 厚       | 助 役 小幡 清之    |
| 収入役 川上 義雄     | 市長公室長 永野 修   |
| 総務部長 斉藤 賢司    | 民生部長 佐藤 澄雄   |
| 経済部長 小沼 晃     | 建設部長 伊東 衛    |
| 水道課長 鈴木 信一    | 教育委員会 伊藤 昌彦  |
| 教育委員会 福原 修    | 選挙管理委員会 加藤 利 |
| 選挙管理委員会 伊丹 三男 | 監査委員 鈴木 重司   |

監事 局長 島田 啓夫

農業委員会 会長 斉藤 明

1 出席事務局職員

事務局 長 兵藤 恭一

事務局 長 補 佐 土橋 康彦

書 記 鈴木 哲

書 記 鈴木 修一

書 記 松浮 郁夏

1 議事日程（第6号）

平成4年9月29日午前10時開議

- |       |   |              |  |
|-------|---|--------------|--|
| 日程第 1 | { | 議案第60号       | 千葉県市町村公平委員会共同設置規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について     |
|       |   | 議案第61号       | 館山市表彰条例の一部を改正する条例の制定について                     |
|       |   | 議案第62号       | 非常勤の特別職の職員に係る報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について |
|       |   | 議案第65号       | 平和都市宣言について                                   |
|       |   | 議案第66号       | 平成4年度館山市一般会計補正予算（第3号）                        |
| 日程第 2 | { | 議案第63号       | 館山市身体障害者ホームヘルプサービス事業に関する条例の一部を改正する条例の制定について  |
|       |   | 議案第64号       | 館山市老人ホームヘルプサービス事業に関する条例の一部を改正する条例の制定について     |
| 日程第 3 |   | 議案第67号       | 平成4年度館山市下水道事業特別会計補正予算（第2号）                   |
| 日程第 4 |   | 請願書の継続審査について |  |
|       | { | 認定第 1号       | 平成3年度館山市一般会計歳入歳出決算の認定について                    |
|       |   | 認定第 2号       | 平成3年度館山市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について              |

- |         |                       |   |
|---------|-----------------------|---|
|         | 認定第 3 号               | 平成 3 年度館山市老人保健特別会計歳入歳出<br>決算の認定について     |
| 日程第 5   | 認定第 4 号               | 平成 3 年度館山市ユースホテル特別会計歳<br>入歳出決算の認定について   |
|         | 認定第 5 号               | 平成 3 年度館山市学童災害共済事業特別会計<br>歳入歳出決算の認定について |
|         | 認定第 6 号               | 平成 3 年度館山市水道事業特別会計収支決算<br>の認定について       |
|         | 認定第 7 号               | 平成 3 年度館山市国民宿舎事業特別会計収支<br>決算の認定について     |
| 日程第 6   | 議案第 6 8 号             | 市道路線の認定について                             |
| 日程第 7   | 議案第 6 9 号             | 館山市教育委員会委員の任命について                       |
| 日程第 8   | 発議案第 3 号              | 農業委員会の委員となるべき学識経験者の推<br>薦について           |
| 日程第 9   | 発議案第 4 号              | 第 3 次急傾斜地崩壊対策 5 か年計画策定に関<br>する意見書について   |
| 日程第 1 0 | 発議案第 5 号              | 道路整備に関する意見書について                         |
| 日程第 1 1 | 常任委員会所管事務の閉会中継続調査について |   |

開 議 午前 1 0 時 4 9 分

◎議長（福原 勤君） 本日の出席議員数 26 名、これより第 3 回市議会定例会第 6 日目の会議を開きます。

#### 議案の配付

◎議長（福原 勤君） 議案を配付いたします。

議案の配付漏れはありませんか。 — 配付漏れなしと認めます。

本日の議事はお手元に配付の日程表により行います。

#### 議案の上程

◎議長（福原 勤君） 日程第1、議案第60号乃至議案第62号、議案第65号及び議案第66号の各議案を一括して議題といたします。

#### 総務委員会委員長報告

◎議長（福原 勤君） ただいま議題となりました各議案は9月18日の本会議において総務委員会に付託されたものであります。

よって、これより各議案に対する総務委員会における審査の経過並びに結果につき委員長の報告を求めます。

総務委員会委員長流山源次郎君。御登壇願います。

（総務委員会委員長流山源次郎君登壇）

◎総務委員会委員長（流山源次郎君） ただいま議題となりました議案第60号乃至議案第62号、議案第65号及び議案第66号にかかわる総務委員会における審査の経過並びに結果について御報告申し上げます。

去る9月18日の本会議におきまして本委員会に付託されました各議案につきまして、22日委員会を招集し、慎重に審査を行いました。

以下、その質疑応答等主なものについて申し上げます。

まず、議案第61号館山市表彰条例の一部を改正する条例の制定についてありますが、今回寄附金の額の改正をしようとするものであります。

委員より、単に額の改正だけでなく、現在功勞表彰において該当する項目が挙げられてはいるが、さらに部門を明確にして表彰をしていく必要があるのではないか。また、時代の変化に伴って、表彰条例が真に市民のものになっていくように見直しをされたいとの意見がありました。

次に、議案第65号平和都市宣言についてであります。討論において、平和都市宣言ということで、さきに採択した非核平和都市宣言を求める請願書とは異なるが、宣言文の中で「核兵器の廃絶を訴え」とあり、請願者の意思が体されていると理解できるとの賛成意見、また、「核兵器廃絶を訴え」という文言が入っているが、核兵器だけを排除するのではなくして、武力による紛争をなくすることが必要なのであり、核兵器廃絶がここに突如として出てくるのは遺憾であるが、その点を除けば賛成できる。宣言をする以上は、単

に宣言をするだけに終わらないように今後取り組まれないとの賛成意見がありました。

次に、議案第66号平成4年度館山市一般会計補正予算（第3号）であります。

まず、総務費中、交通安全施設整備工事請負費として駅前の仮設自転車駐車場の転倒防止さくの設置工事請負費などが計上されていますが、仮設自転車駐車場の利用実態について説明を求めるとともに、今後整理方法や管理規則の制定などを検討してさらに効率的な運用が図られるよう要望いたしました。

次に、土木費において都市計画道路の用地購入費が計上され、いずれも県道館山－白浜線バイパスに関連した道路のものであることから、県道館山－白浜線バイパスの進捗状況について説明を求めましたところ、平成3年度から県からの委託を受け用地買収を行っており、平成3年度約33%、4年度は地権者の了解が得られれば約50%の用地買収になるという状況で、東京湾横断道路の開通に合わせて供用できるよう県に強く要望しているとの説明がありました。

なお、本市の都市計画道路の整備率については現在34%であるとの説明がありましたが、まだ低いと思われるので、積極的に補助金の獲得等をされ、整備率を上げていくべきであるとの意見がありました。

次に、同じく土木費において館山駅西口地区土地区画整理事業にかかわる経費が計上されておりますが、和解があった沼地の一部について換地案に対する同意が得られていないと聞くが、状況はどうなっているかとの質疑に対しまして、引き続き地権者に対し理解、協力を求めているが、話し合いが平行線であれば、早い時期に仮換地指定の行政処分を行い、埋め立て等一連の工事を進めていく。なお、その行政処分に異議があれば行政不服審査請求ができることになっており、知事が裁定することになるとの説明がありましたが、実際には今後極めて難しい面も出てくると考えられるので、重ねて話し合いを行うなど、積極的な市の取り組みを要望するとの意見がありました。

次に、消防費中、消防団員等公務災害補償等共済制度負担金について説明

を求めましたところ、消防団員の退職補償金制度があり、4月から補償金が引き上げられたことに伴う負担金の差額を計上したもので、補償金の引き上げ平均は7.59%、引き上げ後の退職金は最低が団員で5年から10年未満9万5,000円、最高が団長で30年以上83万円であるとの説明がありました。

以上、審査の概要について申し上げます。

採決の結果、付託を受けました議案第60号乃至議案第62号、議案第65号及び議案第66号についてはいずれも全員一致をもって原案どおり可決すべきものと決しました。

以上、総務委員会委員長報告を終わります。

◎議長（福原 勤君） 以上で委員長報告を終わります。

#### 質 疑 応 答

◎議長（福原 勤君） ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。

— 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

#### 討 論

◎議長（福原 勤君） これより討論を行います。

通告はありませんでした。討論はありませんか。— 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

#### 採 決

◎議長（福原 勤君） これより採決いたします。

採決は一括して行います。

各議案についての委員長報告は原案可決であります。

各議案を委員長の報告どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（福原 勤君） 御異議なしと認めます。よって、各議案はいずれも原案どおり可決されました。



## 議案の上程

◎議長（福原 勤君） 日程第2、議案第63号及び議案第64号の各議案を一括して議題といたします。

## 文教民生委員会委員長報告

◎議長（福原 勤君） ただいま議題となりました各議案は9月18日の本会議において文教民生委員会に付託されたものであります。

よって、これより各議案に対する文教民生委員会における審査の経過並びに結果につき委員長の報告を求めます。

文教民生委員会委員長山崎雅己君。御登壇願います。

（文教民生委員会委員長山崎雅己君登壇）

◎文教民生委員会委員長（山崎雅己君） ただいま議題となりました議案第63号並びに議案第64号にかかわる文教民生委員会における審査の経過並びに結果について御報告申し上げます。

去る9月18日、本会議におきまして本委員会に付託されました各議案につきまして、22日委員会を招集し、慎重に審査を行いました。

以下、その質疑応答等主なものについて申し上げます。

両議案ともホームヘルパーを利用する場合の利用世帯の階層区分並びに費用負担額を改正するものでありまして、関連がありますので、一括して審査を行いました。

まず、本市のホームヘルパーについては、入浴サービスで看護婦1名、ヘルパー3名、一般家庭の派遣が10名、計14名であるとの説明がありました。

また、利用者については、8月の派遣区分で見た場合、56世帯に派遣しているが、費用負担のないA、B階層がその91.07%を占めており、今回の改正による増は月額徴収額全体で2,740円であるとの説明がありました。

次に、利用世帯の階層区分については前年度所得税課税年額等が基準になっておりますが、CからD階層に該当する場合、実際の収入はどのくらいになるのか、各階層別に説明を求めたところであります。

次に、現在のヘルパーの賃金は6,630円で、改正に伴って6,880円程度と

なるとの説明がありました。

利用料金引き上げと賃金の引き上げは同一に考えるものではなく、別の観点から考えるべきではないかという意見がありました。

以上、質疑応答等概要について申し上げました。

採決の結果、付託を受けました議案第63号並びに議案第64号について、それぞれ全員一致をもって原案どおり可決すべきものと決しました。

以上で文教民生委員会委員長報告を終わります。

◎議長（福原 勤君） 以上で委員長の報告を終わります。

### 質 疑 応 答

◎議長（福原 勤君） ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。  
— 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

### 討 論

◎議長（福原 勤君） これより討論を行います。

通告がありますので、発言を許します。

21番議員神田守隆君。御登壇願います。

（21番議員神田守隆君登壇）

◎21番（神田守隆君） 議案の第63号及び64号に反対の討論をいたします。

本議案は、国の要綱の改定を理由に、身体障害者及び老人のホームヘルプサービスの1時間当たりの費用負担額を基本的に引き上げようとするものがあります。

まず第1点は、国の要綱の改定を理由にしての提案とのことですが、既に国の要綱では、ホームヘルプサービスの派遣対象は、その家族が介護を行えない状況にある場合から老人またはその家族が老人の介護サービスが必要とする場合と改善され、対象世帯の拡大が図られているにもかかわらず、市の条例では従来そのままになっています。こうした国の要綱の改善点についてはそのままにして、同じく国の要綱の改定を理由に市民の費用負担額は引き上げようとのこの提案は理解できません。まさに市の御都合主義であり、

厳しく指摘し、批判するものであります。

在宅老人福祉のいわばかなめとも言うべきものがこのホームヘルプサービスであります。その制度が市民にとってますます身近なものとして、いわば使い勝手のよいものにしていかなければなりません。まずなすべきことは、費用負担額の増額ではなく、派遣対象拡大の条例改正をこそ急ぐべきでありました。私の行政一般質問への答弁で市当局はホームヘルパー派遣対象の拡大を約束いたしました。が、まず国の要綱の改定を言うのなら、派遣対象の拡大をこそ急ぐべきことを改めて強く主張いたします。

次に、今回の負担額の増額についてであります。ホームヘルプサービスは、従来の施設中心の福祉に対して、在宅福祉のかなめとして、今後の老人福祉施策の中心的な役割を担うものと期待されています。ところが、実際の利用者の立場から見ると、現行の料金体系は、特別養護老人ホームなどの施設入所の費用負担額と比較して、安いどころか、むしろ著しく割高となってしまうケースが考えられます。

神奈川県川崎市では、独自の費用負担額を定めて、国の要綱よりも低所得世帯の負担額を軽減しています。例えば、生計中心者の前年度所得税課税年額が2万4,000円以下までは無料となっていますし、同じく8万2,000円までは1時間当たりの費用負担額は160円と大変安く据え置かれております。

今回提案された市の条例改定案では、例えば前年の所得税課税額がわずか2万円の低所得世帯でも1時間400円の負担をしなければなりません。これは週2乃至3回の派遣で年額12ないし15万円もの負担になります。寝たきりのお年寄りや障害者を抱えた世帯に対して市が援護の手を差し伸べているとは言いがたいと思うのであります。

館山市は昭和49年に福祉都市宣言をいたしました。が、その理念が具体的な施策に生かされなければなりません。その立場から、当面提案では1時間当たりの費用の負担額が400円とされている生計中心者の前年所得税課税額3万円以下の世帯まで費用負担額を無料にすることを主張いたします。

以上の点を主張し、私の反対討論といたします。

◎議長（福原 勤君） 以上で神田守隆君の討論を終わります。

以上で通告者による討論は終わりますが、通告をしない議員で討論はありますか。 — 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

### 採 決

◎議長（福原 勤君） これより採決いたします。

採決は一括して起立により行います。

各議案についての委員長報告は原案可決であります。

各議案を委員長報告どおり可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

◎議長（福原 勤君） 起立多数であります。よって、各議案はいずれも原案どおり可決されました。

### 議案の上程

◎議長（福原 勤君） 日程第3、議案第67号平成4年度館山市下水道事業特別会計補正予算（第2号）を議題といたします。

### 建設経済委員会委員長報告

◎議長（福原 勤君） ただいま議題となりました議案第67号は9月18日の本会議において建設経済委員会に付託されたものであります。

よって、これより本案に対する建設経済委員会における審査の経過並びに結果につき委員長の報告を求めます。

建設経済委員会委員長脇田安保君。御登壇願います。

（建設経済委員会委員長脇田安保君登壇）

◎建設経済委員会委員長（脇田安保君） ただいま議題となりました議案第67号平成4年度館山市下水道事業特別会計補正予算（第2号）にかかわる建設経済委員会における審査の経過並びに結果について御報告申し上げます。

去る9月18日の本会議におきまして本委員会に付託されました議案第67号につきまして、21日委員会を招集し、審査を行いました。

本議案は、歳入歳出それぞれ570万円を追加し、総額2億955万2,000円

としようとするものであります。

印刷費 180万円については、公共下水道計画図等を印刷し、事業の円滑化を図ると説明がされていますが、さらに委員からの質疑に対しまして、事業の管内図を作成するもので、議決後業者を選定し、作成していくとの説明がありました。

採決の結果、付託を受けました議案第67号につきましては全員一致をもって原案どおり可決すべきものと決しました。

以上で建設経済委員会委員長報告を終わります。

◎議長（福原 勤君） 以上で委員長の報告を終わります。

#### 質 疑 応 答

◎議長（福原 勤君） ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。

— 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

#### 討 論

◎議長（福原 勤君） これより討論を行います。

通告はありませんでした。討論はありませんか。 — 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

#### 採 決

◎議長（福原 勤君） これより採決をいたします。

本案についての委員長報告は原案可決であります。

本案を委員長の報告どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（福原 勤君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案どおり可決されました。

#### 請願書の継続審査について

◎議長（福原 勤君） 日程第4、請願書の継続審査についてお諮りいたし

ます。

建設経済委員会に付託中の請願第8号「コメ市場開放反対都市宣言」を求める請願書について、委員長から慎重審査の必要上、会議規則第104条の規定により閉会中の継続審査とされたいとの申し出がありました。

本請願を委員長からの申し出どおり閉会中の継続審査とすることに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(福原 勤君) 御異議なしと認めます。よって、本請願は閉会中の継続審査とすることに決しました。

#### 議長の報告

◎議長(福原 勤君) なお、この際申し上げます。

各常任委員会における陳情審査結果が報告されております。お手元に配付の印刷書により御了承願います。

#### 議案の上程

◎議長(福原 勤君) 日程第5、認定第1号乃至認定第7号、平成3年度館山市一般会計及び特別会計決算を一括して議題といたします。

#### 決算審査特別委員会委員長報告

◎議長(福原 勤君) ただいま議題となりました各会計決算は、ともに9月21日の本会議において特別委員会を設置し、付託されたものであります。

よって、これより本決算に対する決算審査特別委員会における審査の経過並びに結果につき委員長の報告を求めます。

決算審査特別委員会委員長飯田義男君。御登壇願います。

(決算審査特別委員会委員長飯田義男君登壇)

◎決算審査特別委員会委員長(飯田義男君) ただいま議題となりました認定第1号乃至認定第7号、平成3年度館山市一般会計並びに特別会計決算にかかわる決算審査特別委員会における審査の経過並びに結果について御報告

申し上げます。

去る9月21日の本会議におきまして本委員会に付託されました各決算につきまして、24日委員会を招集し、慎重に審査を行いました。

審査に当たっては、提出された説明資料に基づいて市当局の考えをただし、あるいは処理状況の報告を求め、さらに今後改善すべき点、検討を要する事項を指摘、要望しつつ審査を行った次第であります。

以下、委員会におきます質疑応答等、整理いたしましてその概要を御報告申し上げます。

まず、一般会計歳出であります。第2款総務費でありますけれども、基金に対する考え方について質疑がありました。本市の平成2年度財政調整基金の標準財政規模に対する割合は29.1%で、県下29市中8位であったとの説明がありましたが、さらに今後の財政需要を見通した上での基金に対する考え方について説明を求めましたところ、今後予想される上下水道、駅西口開発、ウエルネスリゾート、都市計画道路青柳一大賀線などの大事業に補てんしていく考えであり、景気の動向から税収の伸びが期待できない中で、今までのような積み立ては無理ではないかと考えているとの考えが示されました。

なお、極めて流動的ではあるが、5つの大規模事業に対する一般財源は平成5年度7億円、6年度6億6,000万円で、さらに7年度以降増大していくとの説明がありました。

次に民生費であります。老人福祉の観点から質疑がありました。まず、寝たきり老人にかかわる短期入所事業の利用者がここ数年大幅に増加していることについては、3カ月までのミドルステイの制度ができて、その利用回数がふえていること、また現在利用する際に、従前はその都度健康診断書の提出をするなど複雑な面があったが、利用券の発行により手数を省くことができるようになったことが影響しているのではないかと説明がありました。

さらに、高齢者サービス調整チームについては、老人福祉の中でも大変重要な施策として位置づけられ、先進地においては日常的に行われているが、本市は平成3年度1回しか開かれていないのはどうかとの質疑に対しまして、保健、福祉、医療に携わる方で調整チームを結成し、先進地の視察を行った

りしている。保健所にも同じような制度があり、連絡をとっているところであるが、もう少しきめ細かく会議を開き、サービスの調整、推進をしていきたいとの考えが示されましたが、さらに日常的に連絡を取り合うなど、実効性のあるものにされるよう要望いたしました。

次に衛生費であります。合併処理浄化槽設置事業について質疑がありました。平成3年度 1,690万円の支出については、5人槽から8人槽まで合計24基の設置をしたとのことであり、昭和63年度の制度化から現在まで93基の設置をしているとの説明がありました。

さらに、公有水面の浄化を図るということから、千葉市で行っているように単独浄化槽の設置を自粛させていくというような方策についてどう考えるかとの質疑に対しまして、指導ができれば非常にいいことであると考えますが、制度化されてからまだ実際に基数が少ないこと、公共下水道計画も始まったばかりの段階であること、さらに住民負担の点から見て、合併浄化槽だけの設置というのは難しい面があるとの考えが示されました。

次に労働費であります。勤労者団体補助金については、勤労者の健全な組合活動の推進を目的として、学習、レクリエーション等の福利厚生活動に助成をしたとの説明がありましたが、事業内容等について、補助目的に沿った支出がなされているかどうか質疑がありました。

さらに、景気が低迷していることから、特に零細企業等において労働基準法に違反するようなことがないようにきめ細かな指導をしていく必要があるのではないかと指摘に対しまして、市としては労働基準監督署や安房中小企業労働相談所などの関係機関と連絡を密にして、労働者がよりよい生活を営めるように努力しているとの説明がありました。

次に農林水産業費であります。農地の無断転用に関する質疑がありました。説明によると、地域の農業委員による無断転用防止パトロールを実施し、問題があるときは是正勧告等をしているとのことですが、市内の一部では是正勧告に従わずに利用されているところが見受けられるが、委員会としてどのような対応をしていくのかただしましたところ、委員会としても既に何回か話をしてきているが、改善されていない面もあるので、改めて会長と



相談をし、県の指導も仰ぎながら善処していきたいとの考えが示されました。

次に商工費であります、リゾート開発について国レベルでも見直し論が盛んになってきていることから、リゾートに対する市の根本的な考え方について説明を求めましたところ、当初は全国的なリゾートブームの中で、果たして本当に市民のためになる計画であるかどうか、また自然保護の面からも十分検討されなければならない問題だと考えていた。進行中の計画については、新しい県の方針が出ているので、それを十分にしんしゃくしながら住民のためになるリゾート開発を考えている。ウエルネスについては、藤原の運動公園を中心とした一大健康保健ゾーン、また市民のためのゾーンも考えている。じっくり腰を据えて検討していきたいとの考えが示されました。

次に土木費であります、本会議に引き続き橋上駅舎関連の質疑がありました。橋上駅舎化を求める請願が議会で採択されたこと、また時代の変化等から、今までの行き方を変える時期に来ていると認識している。足場の問題も含めてすべてもう一度見直してこれからの計画を考えていきたいとの考えが示されました。

さらに、建設費等について説明を求めましたところ、具体的な数字は出ていないが、概略の数字で自由通路と橋上駅舎を同時に建設した場合13億円、自由通路の場合は4億6,000万円であり、現在県内26の主要駅を対象に照会をしているが、ほとんどJRの負担はなく、地元負担であるとの回答が来ているとの説明がありました。

またあわせて、最近国鉄清算事業団で管理している駅東側の土地を売却するとの報道がなされているが、市で購入して小公園あるいは市民サービスを図るためのビルの建設は考えられないかとの質疑に対しまして、今後大規模事業がメジロ押しという中でそれだけの財源の調達ができるかが問題であり、現時点では考えていないとの考えが示されました。

次に消防費であります、消防団員の報酬、費用弁償、事故のあった場合の補償等について詳細に説明を求めました。委員より、特に団員が事故に遭った場合の補償等については、ボランティア的な活動であるだけに十分な配慮をされたいとの意見がありました。

なお、消防団員の定数に対する充足率は、平成4年度において統合による2個部の減があり、現在95.5%であるとの説明がありました。

次に教育費であります。神余小学校の統合問題に関して、その後の状況はどうかとの質疑があり、現在地区の会長等に地区集会等の開催を依頼し、その回答を待っているところであるとの説明がありましたが、委員より、神余地区の実情を考えると、当然統合を考えるべきと思われるので、今後も積極的な話し合いを行われるようにとの意見がありました。

次に、幼稚園の児童数が減少していることから、30人学級への移行について、また3歳児学級は考えられないかを問いましたところ、現在幼稚園の園長会、教頭会で協議しているが、現実としては人件費等の問題もあり、困難性がある。来年度も従来どおりの方針でいくとの考えが示されました。

次に、一般会計歳入であります。固定資産税の現年課税に関し、半島振興法に基づく軽減額について説明を求めましたところ、8件で、軽減額1億142万2,000円、最高額は9,848万1,900円であるとの説明がありました。

さらに、関連して納税の免除申請について質疑があり、平成3年度は固定資産税で40件、軽自動車税で65件の免除があったが、その理由としては生活困窮、災害によるものなどであるとの説明がありました。

次に、国民健康保険特別会計であります。国保税の不納欠損額は一般会計の市税のそれを上回っていることから、その内容について説明を求めましたところ、時効成立、執行停止合わせて844人、2,008件、2,614万8,387円であり、その理由としては、生活困窮によるものが717人、1,523件と圧倒的に多い旨の説明がありました。

なお、委員より、基本的な問題として、こうした不納欠損や納税免除した額について一般会計から補助をしていこうという措置は重要な意味と役割を持っており、今後も引き続きこうした制度は、拡充こそすれ、後退してはならないとの意見がありました。

以上が質疑応答等の概要であります。

次に、討論を行いました。まず、一般会計決算について、歳入歳出差引額4億8,758万円余と大幅な黒字を出しているが、もっと市民の要望に応えた

積極的な活用を図るべきであった。また、リゾート開発の問題について、市長は従来計画の見直しを主張してきたにもかかわらず、計画の促進という立場を表明されているのは問題がある。リゾート開発は地域の振興、自然保護、国民の保養の充実という視点から考えなければならず、現在進められているリゾート開発については抜本的に見直す必要がある。国民健康保険特別会計については、国保税が高いという市民の声がある中で、現実に3億円余の黒字を出したことは、国保税の水準を下げて也十分に会計の運用ができたことを示しているとの——一般会計、国民健康保険特別会計決算の認定に反対するとの意見がありました。

次に、提案説明及び主要な施策の成果に関する報告の中で、各施策について計画的に推進し、市民生活の安定向上を図ったとの説明がなされているし、決算審査意見書においても予算の執行状況についておおむね適正なものと認めたとの意見が付されている。本決算は総体的に見て予算議決の趣旨に沿って適正な執行がなされ、所期の目的を達したと認める。しかしながら、今後上下水道を初め多額な行政需要が見込まれているので、本会議、委員会等での指摘、要望事項について十分検討されとともに、さらに財源の確保と効率的な行政運営、予算執行に努められるよう要望するとして、各会計決算の認定に賛成するとの意見がありました。

採決の結果、付託を受けました認定第1号及び認定第2号の一般会計及び国民健康保険特別会計決算については賛成多数をもって、認定第3号乃至認定第7号の各特別会計決算については全員一致をもってそれぞれ認定すべきものと決しました。

以上、本特別委員会における審査の概要につきまして御報告申し上げます。決算審査特別委員会委員長報告を終わります。

◎議長（福原 勤君） 以上で委員長の報告を終わります。

#### 質 疑 応 答

◎議長（福原 勤君） ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。  
— 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

## 討 論

◎議長（福原 勤君） これより討論を行います。

通告はありませんでした。討論はありませんか。—— 討論なしと認めます。  
よって、討論を終結いたします。

## 採 決

◎議長（福原 勤君） これより採決いたします。

採決は分割して行います。

まず、認定第1号、一般会計決算について起立により採決をいたします。

本決算についての委員長報告は認定であります。

本決算を委員長の報告どおり認定することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

◎議長（福原 勤君） 起立多数であります。よって、認定第1号、一般会計決算は認定することに決しました。

次いで、認定第2号、国民健康保険特別会計決算について起立により採決いたします。

本決算についての委員長報告は認定であります。

本決算を委員長の報告どおり認定することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

◎議長（福原 勤君） 起立多数であります。よって、認定第2号、国民健康保険特別会計決算は認定することに決しました。

次いで、認定第3号乃至認定第7号の各特別会計決算について一括して採決いたします。

認定第3号乃至認定第7号についての委員長報告は認定であります。

認定第3号乃至認定第7号を委員長の報告どおり認定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（福原 勤君） 御異議なしと認めます。よって、認定第3号乃至認

定第7号の各特別会計決算はいずれも認定することに決しました。

#### 議案の上程

◎議長（福原 勤君） 日程第6、議案第68号市道路線の認定についてを議題といたします。

議案の朗読を願います。

（書記朗読）

◎議長（福原 勤君） 朗読は終わりました。

#### 議案の内容説明

◎議長（福原 勤君） 議案の説明を願います。

庄司市長。

（市長庄司 厚君登壇）

◎市長（庄司 厚君） 議案第68号市道路線の認定について提案理由を御説明申し上げます。

本路線は館山市稲地先から現在計画を進めている館山工業団地を經由して館山市古茂口地先に通ずる道路で、今後増大する自動車交通量に対応した道路網の整備を図るため、新たに市道の認定をお願いしようとするものでございます。

よろしく御審議のほどお願い申し上げます。

◎議長（福原 勤君） 説明は終わりました。

#### 質疑応答

◎議長（福原 勤君） これより質疑を行います。

御質疑ありませんか。— 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

#### 委員会付託の省略

◎議長（福原 勤君） お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略したいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（福原 勤君） 御異議なしと認めます。よって、本案については委員会の付託を省略することに決しました。

#### 討 論

◎議長（福原 勤君） これより討論を行います。

討論はありませんか。 — 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

#### 採 決

◎議長（福原 勤君） これより採決をいたします。

本案を原案どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（福原 勤君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案どおり可決されました。

#### 議案の上程

◎議長（福原 勤君） 日程第7、議案第69号館山市教育委員会委員の任命についてを議題といたします。

議案の朗読を願います。

（書記朗読）

◎議長（福原 勤君） 朗読は終わりました。

#### 議案の内容説明

◎議長（福原 勤君） 議案の説明を求めます。

庄司市長。

（市長庄司 厚君登壇）

◎市長（庄司 厚君） 議案第69号館山市教育委員会委員の任命について提案理由を御説明申し上げます。

館山市教育委員会委員中、福原 修さん、正木高嗣さんが平成4年9月30日をもって任期が満了いたしますので、後任といたしまして人格、識見ともにすぐれている滝口喜雄さん、田村悦智子さんを適任と考え、任命いたしたく存じます。

御賛同賜りますようお願い申し上げます。

◎議長（福原 勤君） 説明は終わりました。

### 質 疑 応 答

◎議長（福原 勤君） これより質疑を行います。

御質疑ありませんか。 — 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

### 委員会付託の省略

◎議長（福原 勤君） お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略したいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（福原 勤君） 御異議なしと認めます。よって、本案については委員会の付託を省略することに決しました。

### 討 論

◎議長（福原 勤君） これより討論を行います。

討論はありませんか。 — 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

### 採 決

◎議長（福原 勤君） これより採決いたします。

教育委員会委員の任命について同意を求める件はこれに同意することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(福原 勤君) 御異議なしと認めます。よって、教育委員会委員の任命について同意を求める件はこれに同意することに決しました。

#### 議案の上程

◎議長(福原 勤君) 日程第8、発議案第3号農業委員会の委員となるべき学識経験者の推薦についてを議題といたします。

本案は流山源次郎君、飯田義男君の一身上に関する事件でありますので、地方自治法第117条の規定により両君の退席を求めます。

(25番議員流山源次郎君退場)

(28番議員飯田義男君退場)

◎議長(福原 勤君) 議案の朗読を願います。

(書記朗読)

◎議長(福原 勤君) 朗読は終わりました。

#### 議案の内容説明

◎議長(福原 勤君) 議案の説明を求めます。

榎本春光君。御登壇願います。

(13番議員榎本春光君登壇)

◎13番(榎本春光君) ただいま議題となりました発議案第3号農業委員会の委員となるべき学識経験者の推薦について提案理由の説明を申し上げます。

議会推薦により選任された農業委員会委員が2名辞任いたしましたので、その後任として流山源次郎さん、飯田義男さんを最適任者と認め、推薦いたしたく、8名の賛成者を得まして本案を提出いたしました次第であります。

満場の御賛同を賜りますようお願いを申し上げまして、提案理由の説明といたします。



◎議長（福原 勤君） 説明は終わりました。

### 質 疑 応 答

◎議長（福原 勤君） これより質疑を行います。

御質疑ありませんか。 — 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

### 委員会付託の省略

◎議長（福原 勤君） お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略いたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（福原 勤君） 御異議なしと認めます。よって、本案については委員会の付託を省略することに決しました。

### 討 論

◎議長（福原 勤君） これより討論を行います。

討論はありませんか。 — 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

### 採 決

◎議長（福原 勤君） これより採決いたします。

本案を原案どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（福原 勤君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案どおり可決されました。

（25番議員流山源次郎君入場）

（28番議員飯田義男君入場）

### 議案の上程

◎議長（福原 勤君） 日程第9、発議案第4号第3次急傾斜地崩壊対策5か年計画策定に関する意見書についてを議題といたします。

議案の朗読を願います。

（書記朗読）

◎議長（福原 勤君） 朗読は終わりました。

### 議案の内容説明

◎議長（福原 勤君） 議案の説明を求めます。

山崎雅己君。御登壇願います。

（11番議員山崎雅己君登壇）

◎11番（山崎雅己君） ただいま議題となりました発議案第4号第3次急傾斜地崩壊対策5か年計画策定に関する意見書について提案理由の御説明を申し上げます。

朗読にありましたとおり、急傾斜地崩壊対策事業は災害から国民の生命、財産を守るために緊急かつ計画的に行わなければならない国の重要な課題であります。今回県からの要請もあり、来年度を初年度とする第3次急傾斜地崩壊対策5か年計画の策定に当たり、大幅な投資規模を確保し、急傾斜地崩壊対策事業を強力に推進されるよう関係機関に要望いたしたく、お手元に配付のとおり8名の賛成者を得まして本案を提出いたしました次第であります。

満場の御賛同を賜りますようお願いいたしまして、提案理由の説明といたします。

◎議長（福原 勤君） 説明は終わりました。

### 質疑応答

◎議長（福原 勤君） これより質疑を行います。

御質疑ありませんか。 — 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

### 委員会付託の省略

◎議長（福原 勤君） お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略したいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（福原 勤君） 御異議なしと認めます。よって、本案については委員会の付託を省略することに決しました。

### 討 論

◎議長（福原 勤君） これより討論を行います。

討論ありませんか。 — 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

### 採 決

◎議長（福原 勤君） これより採決いたします。

本案を原案どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（福原 勤君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案どおり可決されました。

### 議案の上程

◎議長（福原 勤君） 日程第10、発議案第5号道路整備に関する意見書についてを議題といたします。

議案の朗読を願います。

（書記朗読）

◎議長（福原 勤君） 朗読は終わりました。

### 議案の内容説明

◎議長（福原 勤君） 議案の説明を求めます。

脇田安保君。御登壇願います。

(9 番議員脇田安保君登壇)

◎9 番(脇田安保君) ただいま議題となりました発議案第5号道路整備に関する意見書について提案理由を御説明申し上げます。

道路網の整備は本市にとって極めて重要な課題であることは言うまでもないところであります。今回県からの要請もあり、来年度の第11次道路整備5か年計画の発足を前にして、さらに政府に対し道路整備に関する要望をいたしたく、お手元に配付のとおり7名の賛成者を得まして本案を提出した次第であります。

満場の御賛同を賜りますようよろしくお願いいたしますして、提案理由の説明といたします。

◎議長(福原 勤君) 説明は終わりました。

#### 質 疑 応 答

◎議長(福原 勤君) これより質疑を行います。

御質疑ありませんか。— 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

#### 委員会付託の省略

◎議長(福原 勤君) お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略いたしたいと思えます。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(福原 勤君) 御異議なしと認めます。よって、本案については委員会の付託を省略することに決しました。

#### 討 論

◎議長(福原 勤君) これより討論を行います。

討論ありませんか。— 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたし

ます。

## 採 決

◎議長（福原 勤君） これより採決いたします。

本案を原案どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（福原 勤君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案どおり可決されました。

## 常任委員会所管事務の閉会中継続調査について

◎議長（福原 勤君） 日程第11、常任委員会所管事務の閉会中継続調査についてお諮りいたします。

各常任委員会においてお手元に配付の所管事務の閉会中継続調査申出事件一覧表のとおり閉会中も継続して調査したいとの申し出がありました。

お諮りいたします。各委員会から申し出のとおり閉会中の継続調査とすることに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（福原 勤君） 御異議なしと認めます。よって、各委員会から申し出のとおり閉会中の継続調査とすることに決しました。

## 閉 会 午前11時52分

◎議長（福原 勤君） 以上で本定例会に付議されました案件は議了いたしました。

よって、これにて第3回定例会を閉会いたします。

## ◎本日の会議に付した事件

- 1 議案第60号乃至議案第69号
- 1 認定第1号乃至認定第7号
- 1 発議案第3号乃至発議案第5号

- 1 請願書の継続審査について（請願第8号）
- 1 常任委員会所管事務の閉会中継続調査について

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

館山市議会議長      福   原      勤

館山市議会議員      永   井   龍   平

館山市議会議員      川   名   正   二